

研究課題番号	2-2006
研究課題名	メタン吸収能を含めたアジア域の森林における土壌炭素動態の統括的観測に基づいた気候変動影響の将来予測
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	国立研究開発法人 国立環境研究所
研究代表者名	梁 乃申

1. 委員の指摘及び提言概要

チャンバーネットワークによる連続観測は貴重なデータを提供しており、また、CH₄/CO₂の広域推定・変化分析は先駆的研究と認められる。計画通りあるいはそれ以上の進捗と評価する。日本とアジア域の森林土壌によるメタン吸収量は全球的なメタンフラックスに何%程度寄与しているのか等、アジア域におけるCH₄フラックスに関する広域評価に期待する。今後の研究展開としては、観測やそれに基づいたモデルによる解析だけでなく、重点課題や行政ニーズで求められている課題にどのように応えて行くかを、より具体的にした目標や作業計画を立てて進めると共に、過去に得られた多くのデータも活用して土壌に関する解析結果をまとめた総合的な科学的評価を期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A